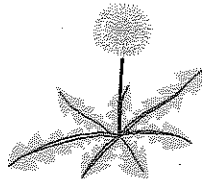


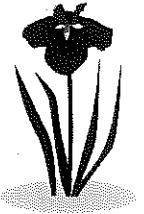
たんぽぽ



東広島市立西志和小学校特別支援学級
学級通信 No. 4 令和2年5月27日
担任

あせらず・ゆっくり・しっかりと

先週の登校日には、久しぶりに2人がそろいました。これまで家で過ごす時間が長く、戸惑いもあったと思いますが、2人とも元気な顔を見せてくれて安心しました。校舎全体に子どもたちの声が響くと、活気が出ていいなと改めて感じました。まずは、3人で朝の会をして、6月の歌「にじ」を歌いました。「雨があがると、空に虹がかかって、気分も晴れる…」そんなあたたかい歌詞です。しっかりと練習して、口ずさめるようにしたいなと思っています。それから、体を動かす時間をとりました。椅子に座って深呼吸をしたり、マットを敷いてストレッチをしたり、固まっていた体をほぐすように、ゆっくり行いました。

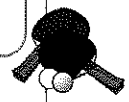


さて、6月から長かった休業が明けます。学校生活がある日常への切り替えにはエネルギーが必要と思います。もしかしたら、「不安だな」「しんどいな」といった子どもの気持ちのハードルは、こちらが考えている以上かもしれないので、焦って無理をさせないように注意しながら、しっかりと軌道に乗せていきたいところです。そこで、できることを考えてみました。1つ目は、学校がはじまる見通しを持たせることです。一緒にカレンダーを眺めながら、「今日は○曜日。○曜日から学校がはじまるね。○○をするよ。楽しみだね。」と、心に余裕をもって声をかけようと思います。2つ目は、できていることに注目して声をかけることです。「当たり前」に挨拶ができたね。○○してくれて助かったよ。一緒に○○したら楽しいね。」と、子どもの行動をそのまま言葉にしたり、感謝や愛情を伝えたり、今一度、意識をしていこうと思っています。肯定的な対応を継続し、お子様の休業明けの気持ちを前向きに整えてあげたいと思います。

～休業中のできごと～

「休業中のできごと」について、スピーチしました。二人とも、課題が終わると、自分の好きなアニメや漫画を楽しんでいたようです。家族の皆さんと、良いおうち時間を過ごせた様子も伝わってきました。

家庭科の課題で、「お茶を入れる」「ゆで野菜をつくる」「ゆで卵をつくる」という実習に挑戦しました。コンロの火をつけるなど、ドキドキしながら良い体験ができました。おうちの人に喜んでもらえて良かったです。



たつきゆうをしたよ
今日、家でたつきゆうをしました。
ぼくは、はじめてしたので、あまり上手にできませんでした。ぜんぶ負けた。でも、いっぱい汗をかいて、いい運動になりました。
上手になりたいです。

図工の課題



「動物の町」

今日も一日のはじまりです。
ピカピカのランドセルを背負った一年生は、うれしそうに学校へ行っています。ようち園のみんなも、友達と「行ってきまーす！」中学校は、先生がかぜをひいちゃって、お休みみたいです。それなのに、みんな外で遊んでいるの？！

悲しいことがあったよ
今日、チワワのとめきちが亡くなりました。十四さいでした。とても悲しくて、たくさん泣きました。父さんが、「じゅみやうだよ。」と教えてくれました。
次の日、ばあちゃんとお父さんとお母さんとのおお魅とねえちゃん、とめのやき場に行きました。お別れのことばをいうのが、さびしかったです。でも、今まで楽しかったです。